

# 第30期第2四半期 決算説明会資料

## テクマトリックス株式会社

<http://www.techmatrix.co.jp/>

2013年11月6日

<b>1. 第30期第2四半期業績</b>	-----	<b>3</b>
<b>2. 第30期戦略進捗状況</b>	-----	<b>14</b>
<b>3. 市場状況（ご参考）</b>	-----	<b>26</b>

# 1. 第30期第2四半期業績

# 1. 第30期第2四半期業績

ハイライト

(連結)

## 売上の状況

- 売上高： 8,323百万円
- 前年同期比：5.9%増



- 米国の財政問題や中国、新興国経済の停滞による景気下振れ懸念が継続しており、本格的なIT投資の回復には至らず。
- 上半期として過去最高の売上高

## 利益の状況

- 営業利益：430百万円（前年同期比18.0%減）  
売上高営業利益率：5.2%
- 経常利益：446百万円（前年同期比18.7%減）  
売上高経常利益率：5.4%
- 四半期純利益：400万円（前年同期比38.1%増）



- 売上、利益の各指標は第2四半期計画数値を達成。（増収、減益）
- 医療分野の減収分を予定通り他事業部門の増収でカバー
- 連結子会社5社中4社が黒字
- 繰延税金資産追加計上による法人税等調整により純利益増加

- ストック型ビジネスの戦略的拡大が予定通りに推移し、期初計画通りの進捗。
- 医療情報クラウドサービス「NOBORI」、CRM分野の成約が好調に推移。
- 情報基盤事業の売上高は上半期過去最高を達成。

# 1. 第30期第2四半期業績

業績の推移

(連結)

(単位：百万円)



# 1. 第30期第2四半期業績

## 四半期業績の推移

(連結)

(単位：百万円)

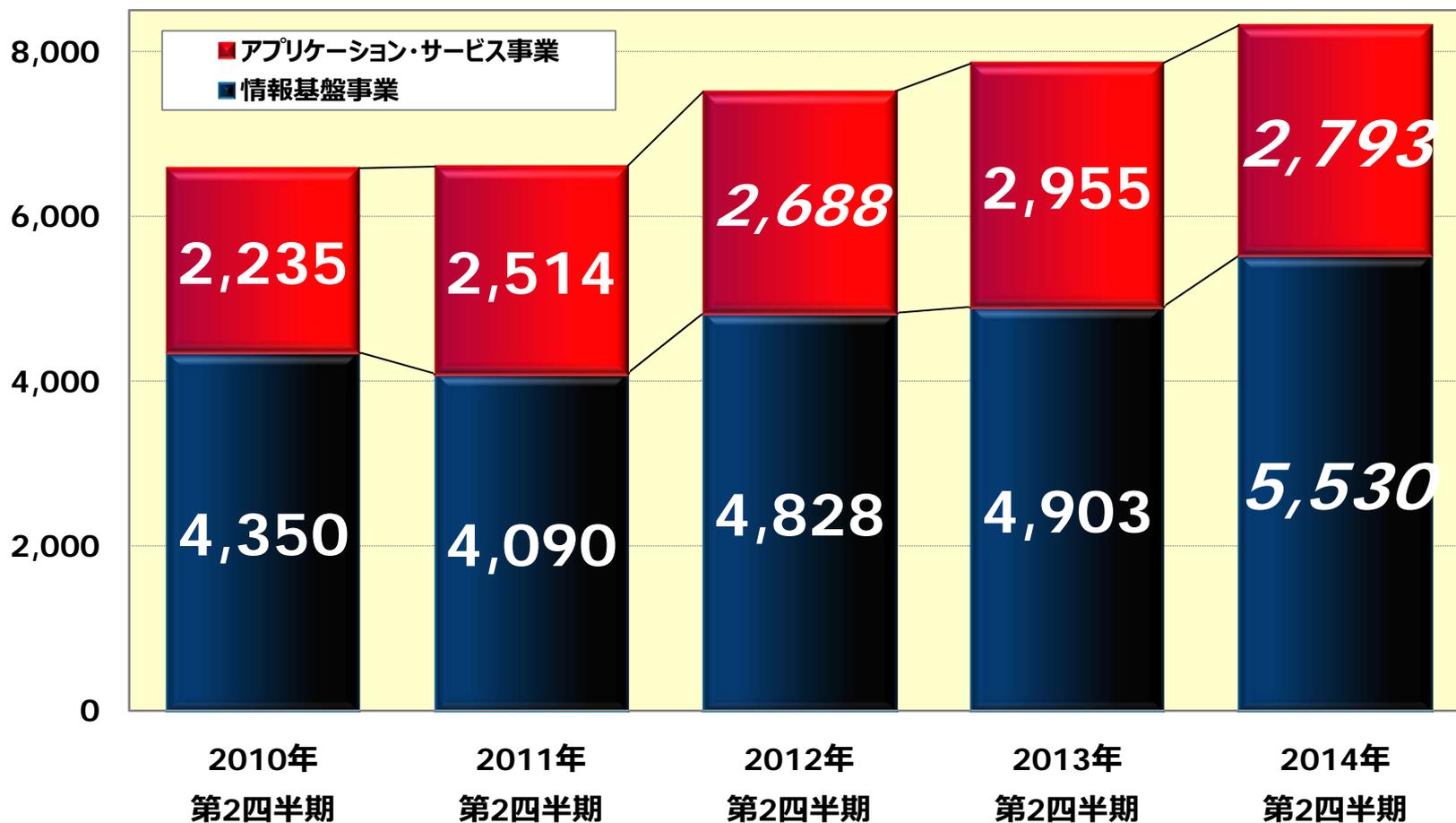
	2012年3月期 売上/営業利益	2013年3月期 売上/営業利益	2014年3月期 売上/営業利益
Q1	3,467/73	3,696/93	3,823/58
Q2	4,049/393	4,162/431	4,500/372
	7,517/466	7,859/525	8,323/430
Q3	3,394/96	4,252/346	
Q4	4,368/408	4,620/322	
通期	15,279/971	16,731/1,194	

# 1. 第30期第2四半期業績

セグメント別売上

(連結)

(単位：百万円)



# 1. 第30期第2四半期業績

情報基盤事業

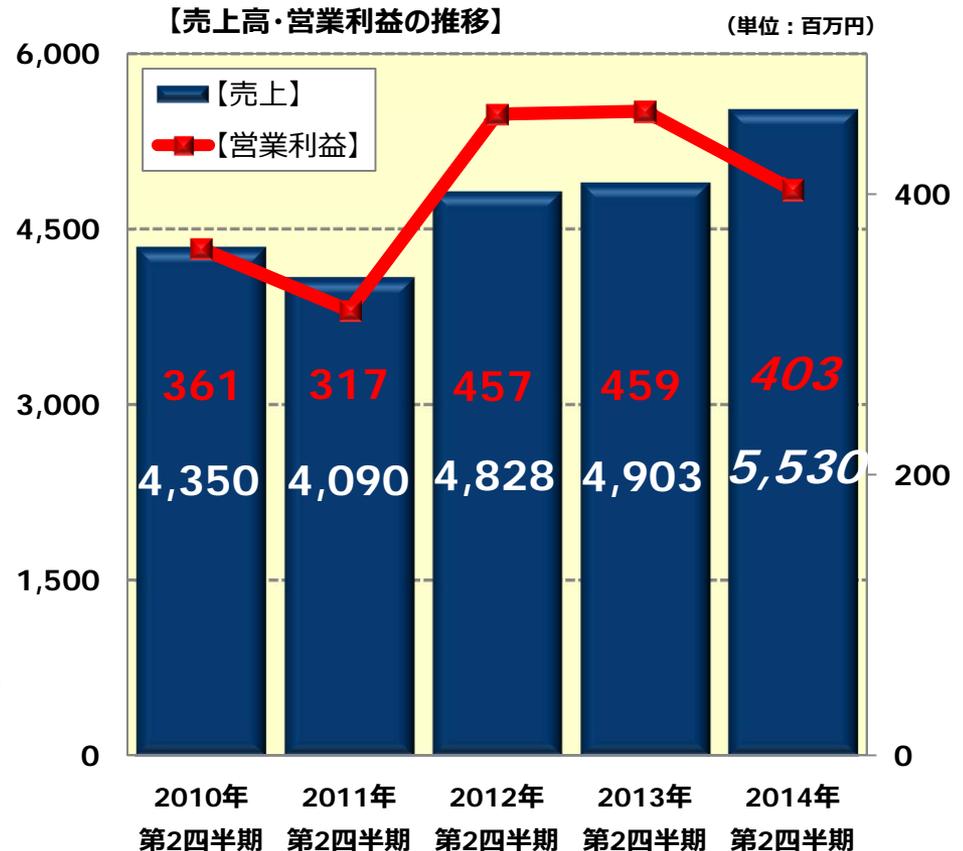
(連結)

- 2014年3月期第2四半期の概況 : 売上は5,530百万円 (前年同期比 12.8%増)  
: 営業利益は403百万円 (前年同期比 12.2%減)

## ■ 過去最高の売上高を達成

### ■ ハイライト

- 主力の負荷分散装置が、国内株式市場の活況に伴うネット証券向け等の需要が旺盛で、好調に推移。
- サイバー攻撃の脅威の高まりにより、次世代ファイアウォール製品、他セキュリティ関連製品は堅調。
- 公共機関向け大型案件の受注に成功。
- クロス・ヘッドは保守、運用・監視サービスの引き合いは堅調なもの技術要員の確保に苦戦。
- 沖縄クロス・ヘッドは、地方公共団体向け基盤整備事業等の売上計上により売上高が増加。一方で利益率低下で損益面ではやや苦戦。
- NCLCはネットワーク仮想化技術に対応した次世代ネットワーク機器製品の販売に注力。セキュリティ関連製品の販売も堅調。



# 1. 第30期第2四半期業績

アプリケーション・サービス事業

(連結)

- 2014年3月期第2四半期の概況 : 売上は2,793百万円 (前年同期比 5.5%減)  
: 営業利益は27百万円 (前年同期比58.0%減)

## ■ ハイライト

### ● インターネットサービス分野

- ・スマートフォン関連のシステム開発案件等、既存顧客を中心に好調。
- ・金融機関向けリスク管理システム等、金融分野における受託開発案件の受注が前年度より大幅に回復。
- ・カサレアルは教育事業及び既存顧客からの継続的な受託開発が好調。

### ● ソフトウェア品質保証分野

- ・組み込みソフトウェアに関する品質向上、機能安全の必要性の浸透による需要の高まりは継続。
- ・円高の是正、それに伴う製造業の復調を背景に、テストツールを中心に受注は堅調。

### ● 医療分野

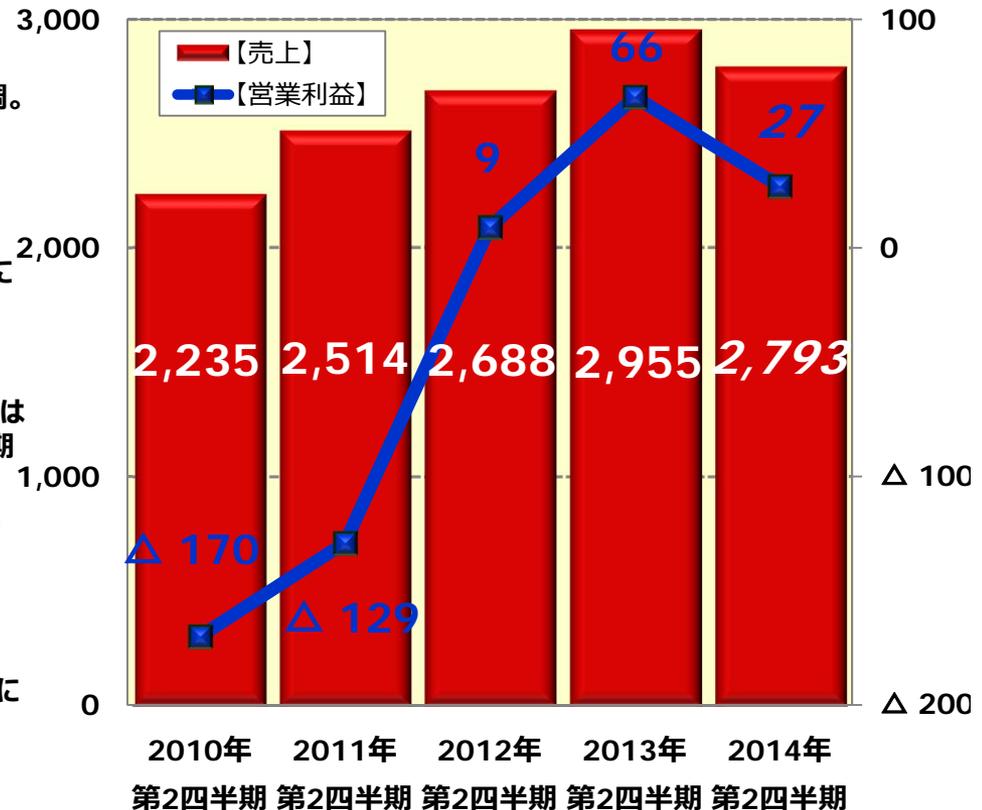
- ・医療情報クラウドサービス「NOBORI」の引き合いが好調。受注実績は順調に伸長。一方で、契約期間に応じて案分計上される売上は、短期的には減少(業績は概ね計画通りに推移)。
- ・医知悟はクラウド需要の高まり、検診施設などの顧客の取り込みが進み、契約施設数、読影依頼件数、従量課金金額共に順調に増加。売上、利益ともに計画値を超過。

### ● CRM分野

- ・大手システム・インテグレーターとの業務提携やクラウド需要の増加等により大型案件も獲得し、順調に受注を伸ばす。

【売上高・営業利益の推移】

(単位:百万円)



# 1. 第30期第2四半期業績

損益計算書(P/L)

(連結)

(単位：百万円)

決算年月		2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	前期比 増減率
売上高		7,859	 8,323	5.9%
営業利益		525	 430	△18.0%
	利益率	6.7%	 5.2%	
経常利益		549	 446	△18.7%
	利益率	7.0%	 5.4%	
四半期（当期）純利益		289	 400	38.1%
	利益率	3.7%	 4.8%	

# 1. 第30期第2四半期業績

## 貸借対照表(B/S)

(連結)

(単位：百万円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期
<b>流動資産</b>	<b>8,487</b>	<b>9,291</b>
現金・預金	3,522	3,744
受取手形・売掛金	2,589	2,937
その他流動資産	2,375	2,608
<b>固定資産</b>	<b>2,963</b>	<b>3,211</b>
有形固定資産	388	408
のれん	652	529
その他無形固定資産	745	767
投資その他の資産	1,177	1,506
<b>資産合計</b>	<b>11,450</b>	<b>12,502</b>

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期
<b>流動負債</b>	<b>5,088</b>	<b>5,479</b>
買掛金	766	870
短期借入金	350	350
その他流動負債	3,971	4,258
<b>固定負債</b>	<b>722</b>	<b>751</b>
<b>負債合計</b>	<b>5,810</b>	<b>6,230</b>
株主資本	5,215	5,738
その他の包括利益累計額合計	△21	50
新株予約権	5	—
少数株主持分	441	483
<b>純資産合計</b>	<b>5,639</b>	<b>6,272</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>11,450</b>	<b>12,502</b>

# 1. 第30期第2四半期業績

2014年3月期(30期)上半期の  
プレスリリース①

日付	リリースタイトル
5月	金融商品評価・分析ツール「FINCAD Analytics Suite2013」の販売開始のお知らせ
	BIソリューションの提供開始に関するお知らせ
6月	モーニングスター社の対談動画に当社代表取締役社長由利孝が出演しました
	大規模EC事業者向けバックオフィスシステム構築ソリューション「楽楽ECインテグレーションサービス」提供開始のお知らせ
	Anise Asia Cloudとのマレーシアにおける販売代理店契約締結についてのお知らせ
7月	エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社が、SDNネットワーク構築ソフトの無償提供を開始
	株主優待制度の一部変更に関するお知らせ

# 1. 第30期第2四半期業績

2014年3月期(30期)上半期の  
プレスリリース②

日付	リリースタイトル
8月	産総研と共同で世界初のテスト設計技法の共同研究を開始
	株主優待制度の優待内容に関するお知らせ
9月	FastCloudが「第7回 ASP・SaaS・クラウドアワード2013」にて「海外展開賞」を受賞
	ビッグデータ分析支援サービスの提供開始に関するお知らせ

## 2. 第30期戦略進捗状況

# テクマトリックスの戦略

## ①クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進

- SaaS (Software as a Service) の主体的運営
- クラウドを可能にする技術の発掘と提供

## ②「セキュリティ&セーフティの追求」

- ネットワーク・セキュリティ
- 機能安全、ソフトウェア品質保証

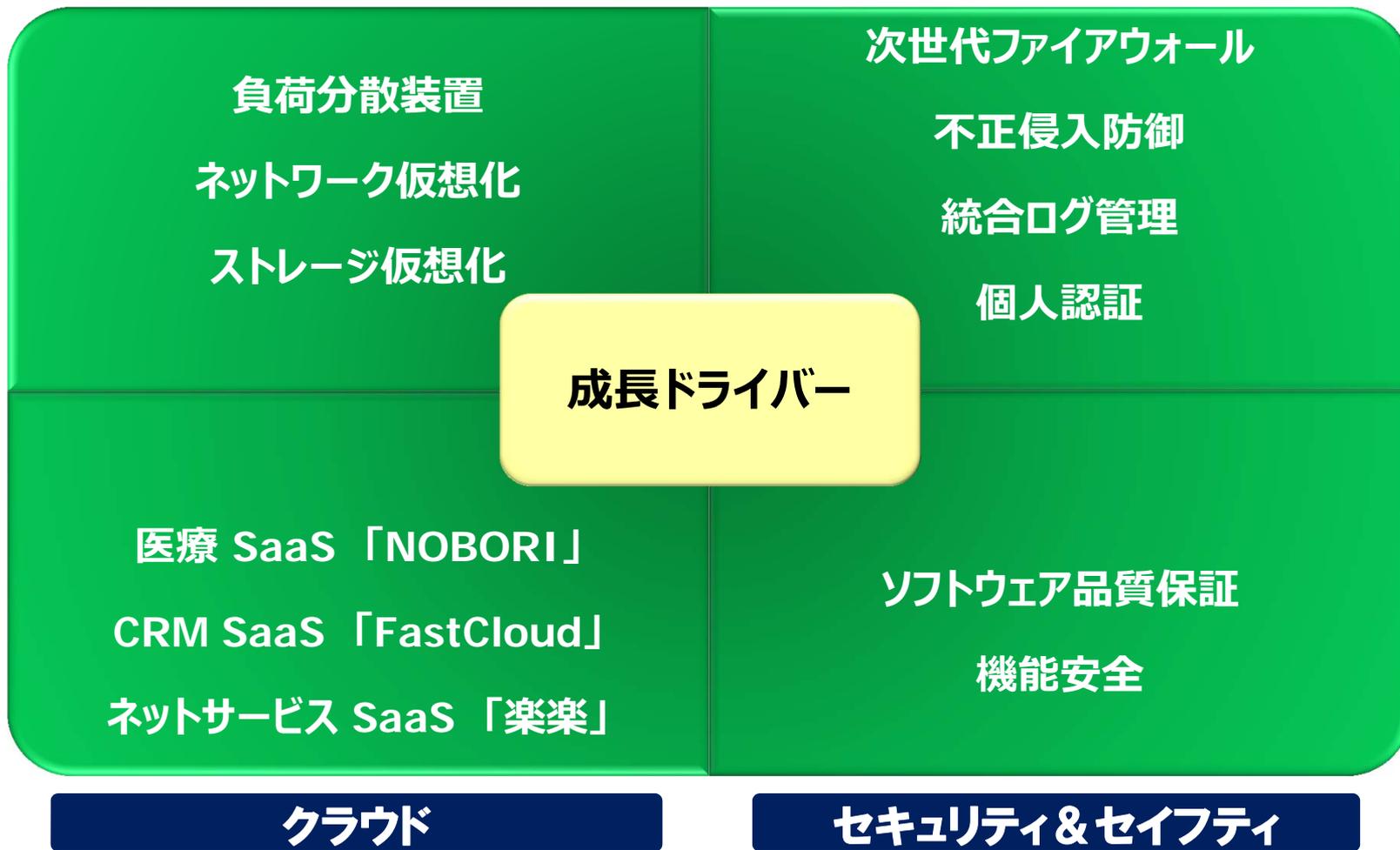


## 2. 第30期戦略進捗状況

### 成長仮説の証明

情報基盤事業

アプリ・サービス事業



## 2. 第30期戦略進捗状況

### 未来志向での選択と戦略的投資

#### ネットワークセキュリティ

- サイバー攻撃の防御
- コンピュータ資源のユーティリティ化（クラウド）

#### 医療

- 医療情報の外部保存の解禁（クラウド化）
- ITによる医療サービスの充実と効率化（フロンティア）

#### CRM

- クラウド（SaaS）分野における先頭ランナー
- 顧客ロイヤリティ向上による差別化

#### インターネットサービス

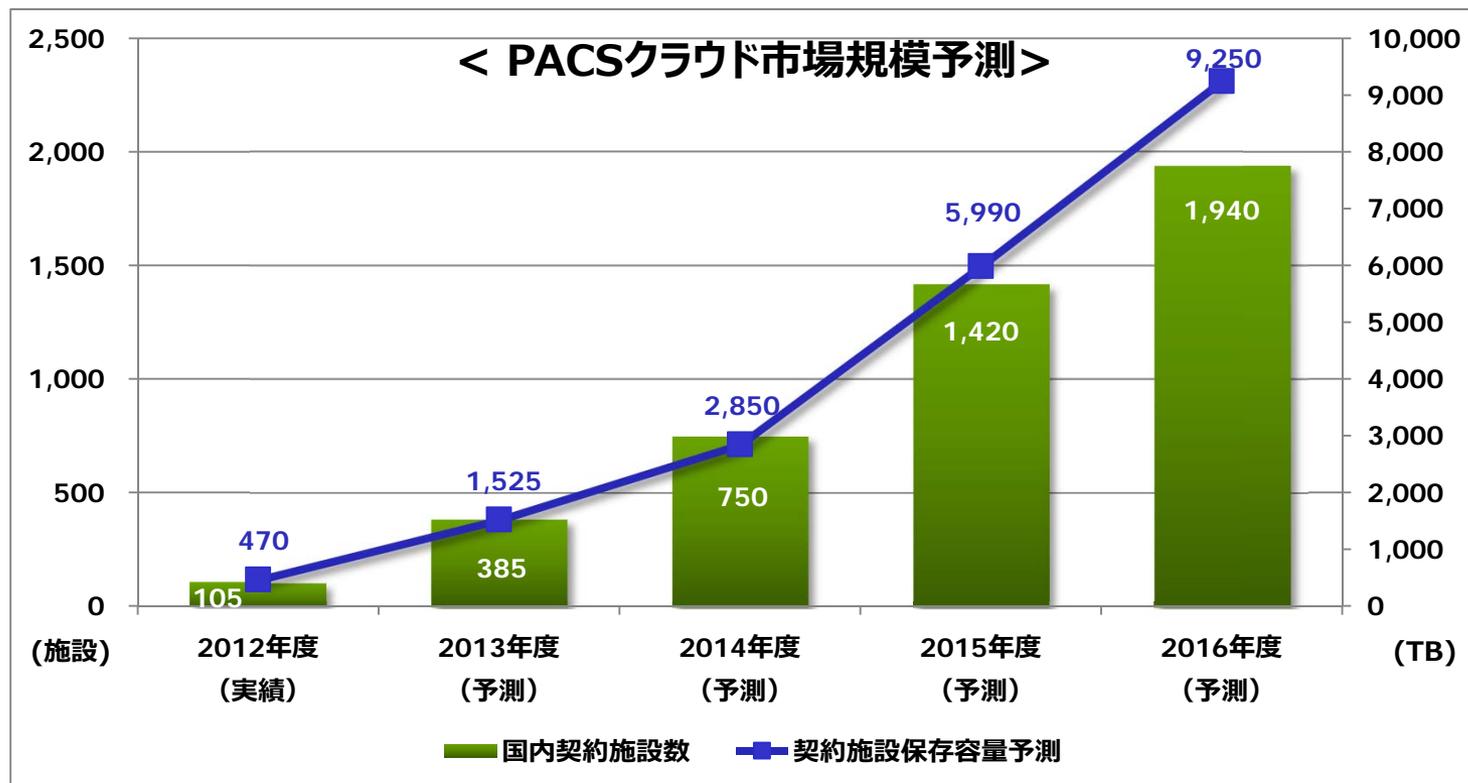
- ネット販売流通総額の継続的拡大
- スマートフォンの普及による裾野の拡大

#### ソフトウェア品質保証

- 機能安全規格の厳格化（コンプライアンス）
- 電子（ソフトウェア）制御の普及

## 2. 第30期戦略進捗状況

### 医用画像システム(PACS)における クラウドモデルの進捗

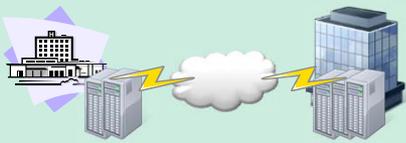


- ◆2012年度末時点でのクラウドの国内契約施設数は105。2015年頃から本格的普及を予測。
- ◆テックマトリックスが2012年度末、契約施設数50で先行。

\* 矢野経済研究所「2012年版医用画像システム (PACS) ・関連機器市場の展望と戦略」より。

## 2. 第30期戦略進捗状況

### 医用画像システム(PACS)におけるクラウドモデルの進捗

外部保存型クラウドの分類	形態	特徴	構成イメージ	NOBORI
TYPE 1	短期/長期とも院内サーバ+外部保存 (全データを院内と外部データセンターに2重保存)	院外でのデータバックアップ機能の追加。 既存システムに追加のコストが発生。		-
TYPE 2	短期は院内サーバ+長期は外部保存	比較的利用頻度の高いデータを院内保存。既存システムに追加のコストが発生。		-
TYPE 3	院内サーバ設置なし+外部保存型 (院内はキャッシュのみなど)	導入コスト+院内サーバ不要なため、低価格で。大規模施設に加え、小規模施設で急速に普及する可能性。		◎

\* 矢野経済研究所「2012年版医用画像システム (PACS) ・関連機器市場の展望と戦略」より作成。

- ◆ テクマトリックスは、低価格・短期間で導入できるNOBORIにより医療クラウドサービス市場において先行。
- ◆ 2014年3月期の年間計画契約件数100件に対して、上期で約40件を獲得し、順調に成約を伸ばしている。
- ◆ 大規模病院の成約に加え、パートナー営業強化により下期契約数は順調に推移する予定。

### クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進

#### 【NOBORI】

- 契約施設数が順調に推移：上期40件（累計90件）
- 大型案件の増加、パートナー戦略強化により成約金額も順調に推移。

#### 【医知悟】

- 検診施設の顧客取り込みが進み、売上・利益とも計画値を超過。

#### 【CRM】

- クラウド需要を取り込み、成約が好調。上期成約予算を超過。  
(契約件数は、前年同期比36%増。月額利用料は、前年同期比47%増。)

#### 【インターネットサービス】

- 楽楽ECブリッジ関連で大型案件を受注。

### セキュリティ・セイフティの推進

#### 【NWS】

- 大手企業や政府機関へのサイバー攻撃の脅威により、セキュリティ関連製品が堅調。

#### 【ソフトウェア品質保証】

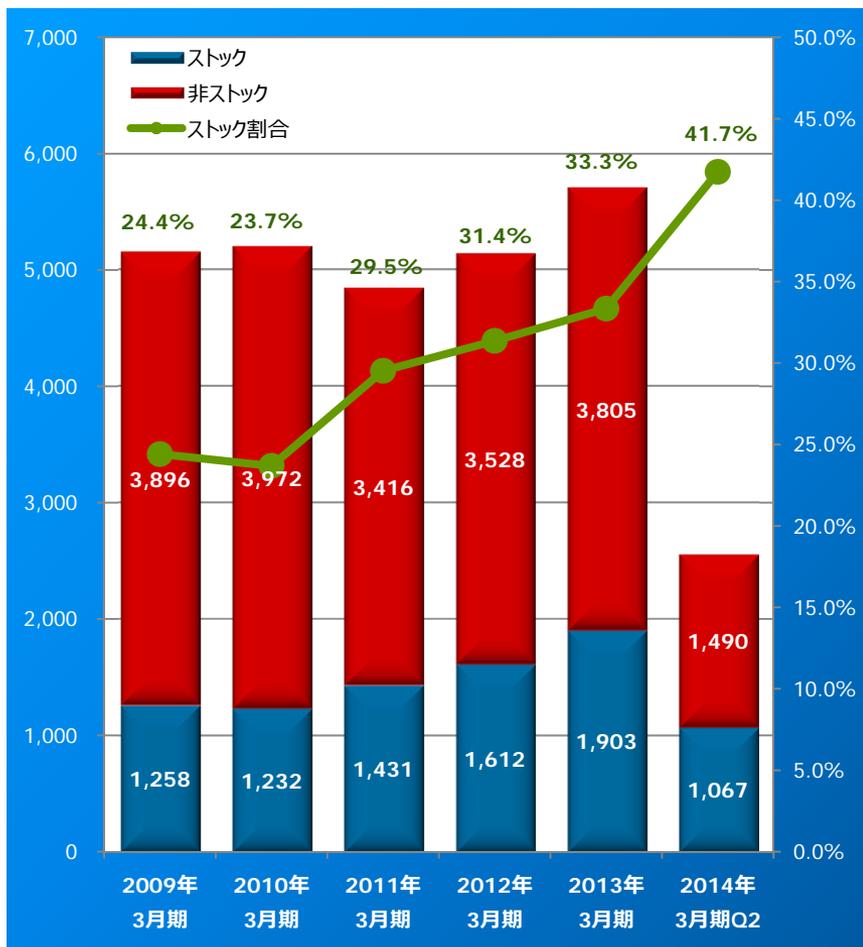
- 独立行政法人産業技術総合研究所と共同で、世界初のテスト設計技法の研究開始。

# 2. 第30期戦略進捗状況

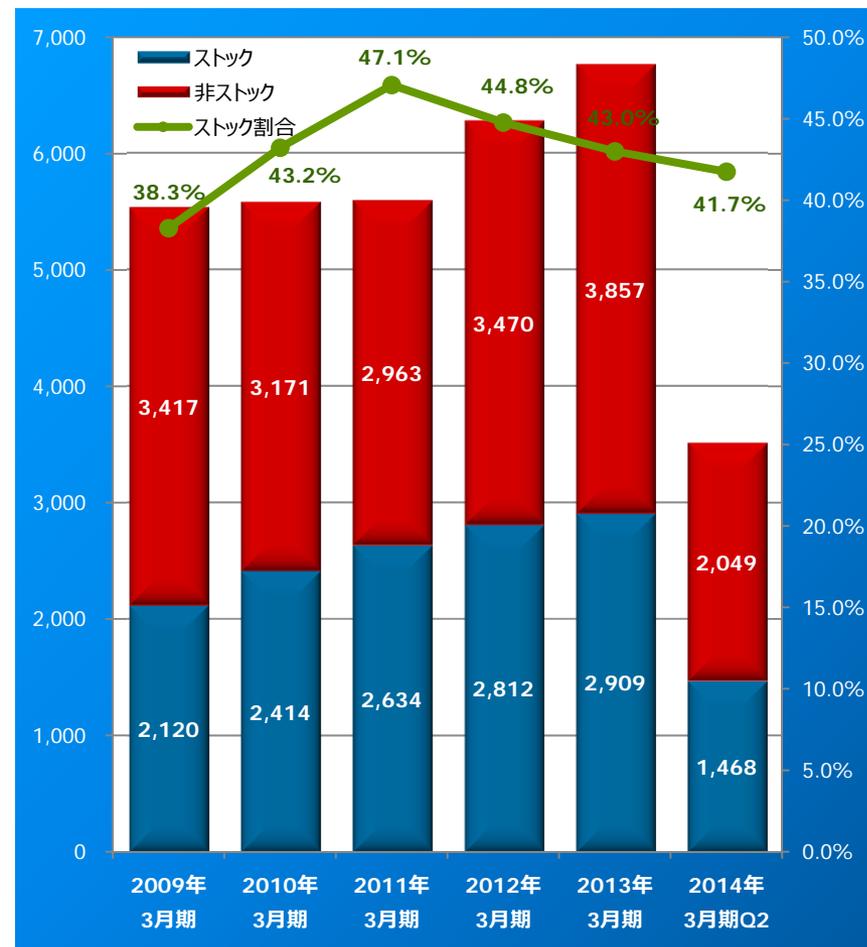
## 進捗状況トピック

(単体)

### アプリケーション・サービス事業 売上区分別比率



### 情報基盤事業 売上区分別比率



## 2. 第30期戦略進捗状況

2014年3月期(30期)計画と進捗

(連結)

(単位：百万円)

決算年月	2014年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期計画	達成率	2014年3月期 通期計画	進捗率
売上高	8,323	8,100	102.8%	17,500	47.6%
営業利益	430	430	100.0%	1,150	37.4%
経常利益	446	430	103.9%	1,150	38.8%
純利益	400	320	125.1%	690	58.0%

- ◆全指標で第2四半期計画数値（累計）を達成。
- ◆上期の引き合い状況、成約実績も好調に推移。

## 2. 第30期戦略進捗状況

各セグメント別売上高見通し

(連結)

(単位：百万円)

	2013年3月期 第2四半期実績	2014年3月期 第2四半期実績	2014年3月期 計画	進捗率
情報基盤事業 ・ネットワーク/セキュリティ	4,903	5,530	11,600	47.7%
アプリケーション・サービス事業 ・インターネットサービス ・金融 ・ソフトウェア品質保証 ・医療 ・CRM	2,955	2,793	5,900	47.3%
全社	7,859	8,323	17,500	47.6%

## 2. 第30期戦略進捗状況

通期業績の推移と見通し

(連結)

(単位：百万円)



## 2. 第30期戦略進捗状況

### 株価推移・株主還元策



### 株主優待制度

- +
- <対象>  
9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主の皆様
  - <優待内容>  
500株以上：1,000円相当の商品または寄付  
1,000株以上：3,000円相当の商品または寄付

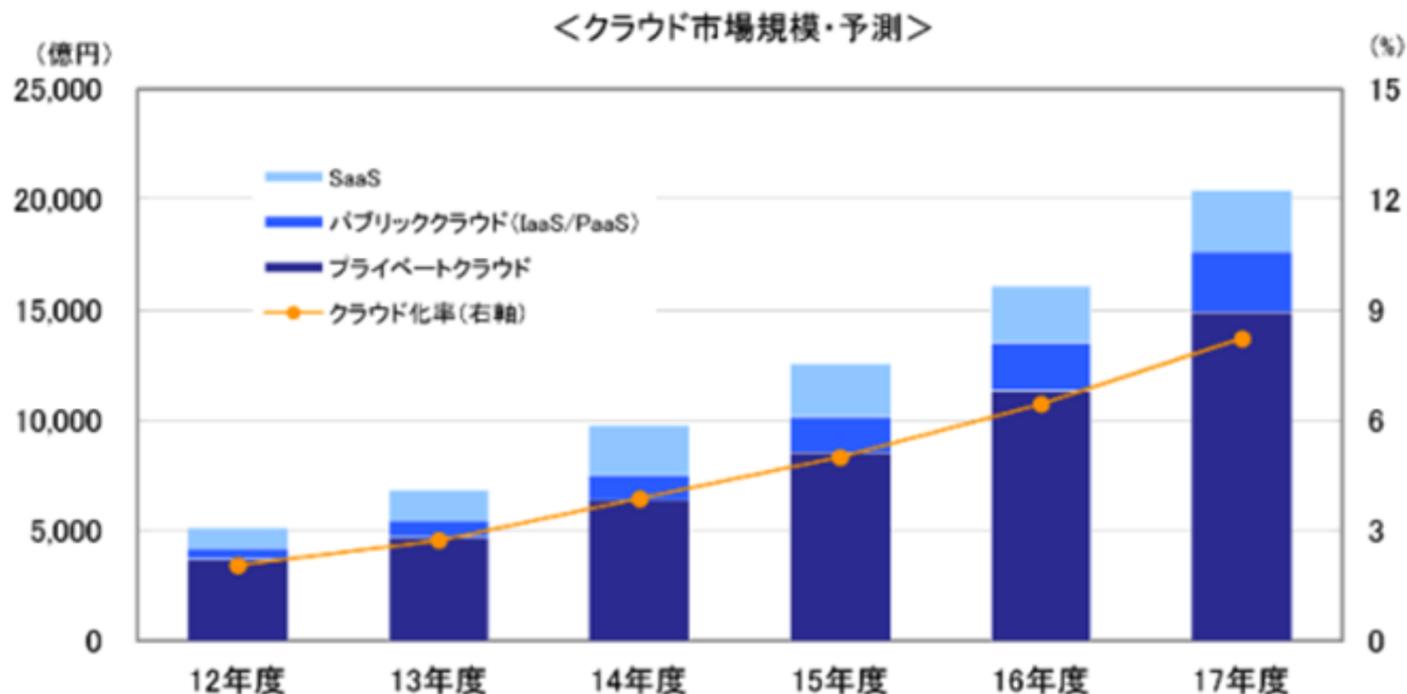
\*平成25年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行っております。そのため2008年3月に当該株式分割が行われたと仮定して、株価及び配当金を表示しております。2014年3月期の配当性向は、2014年3月期の業績予想と、2014年3月期第2四半期の期中平均株式数で算出しております。

## 3. 市場状況（ご参考）

### 3. 市場状況 (ご参考)

#### クラウド市場規模

#### クラウド市場は2017年度に2兆円規模を予測



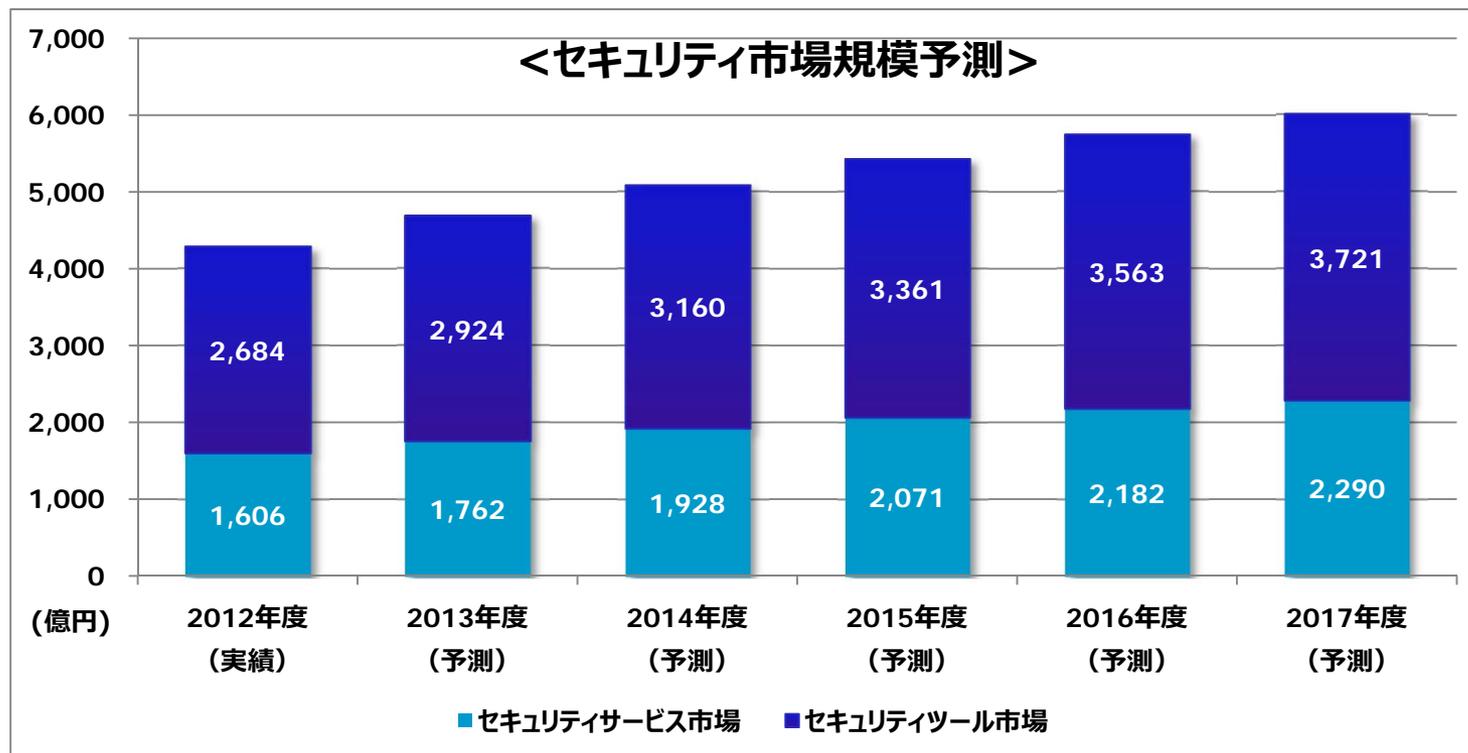
◆国内のICT投資総額は2012年度から2017年度まで年間約25兆円の横ばい予測の一方で、ICT投資総額に占める「クラウド化比率」は12年度の2.1%から、2017年度は8.2%に増加予想。

◆国内クラウド市場は2012年度5,102億円、2017年度までの平均成長率32.0%と急速な成長を予測。2015年度に1兆2,558億円、2017年度に2兆411億円に達する。

\*MM総研「国内クラウドサービス需要動向」(2013年8月30日)より。

### 3. 市場状況 (ご参考)

#### ネットワークセキュリティ市場



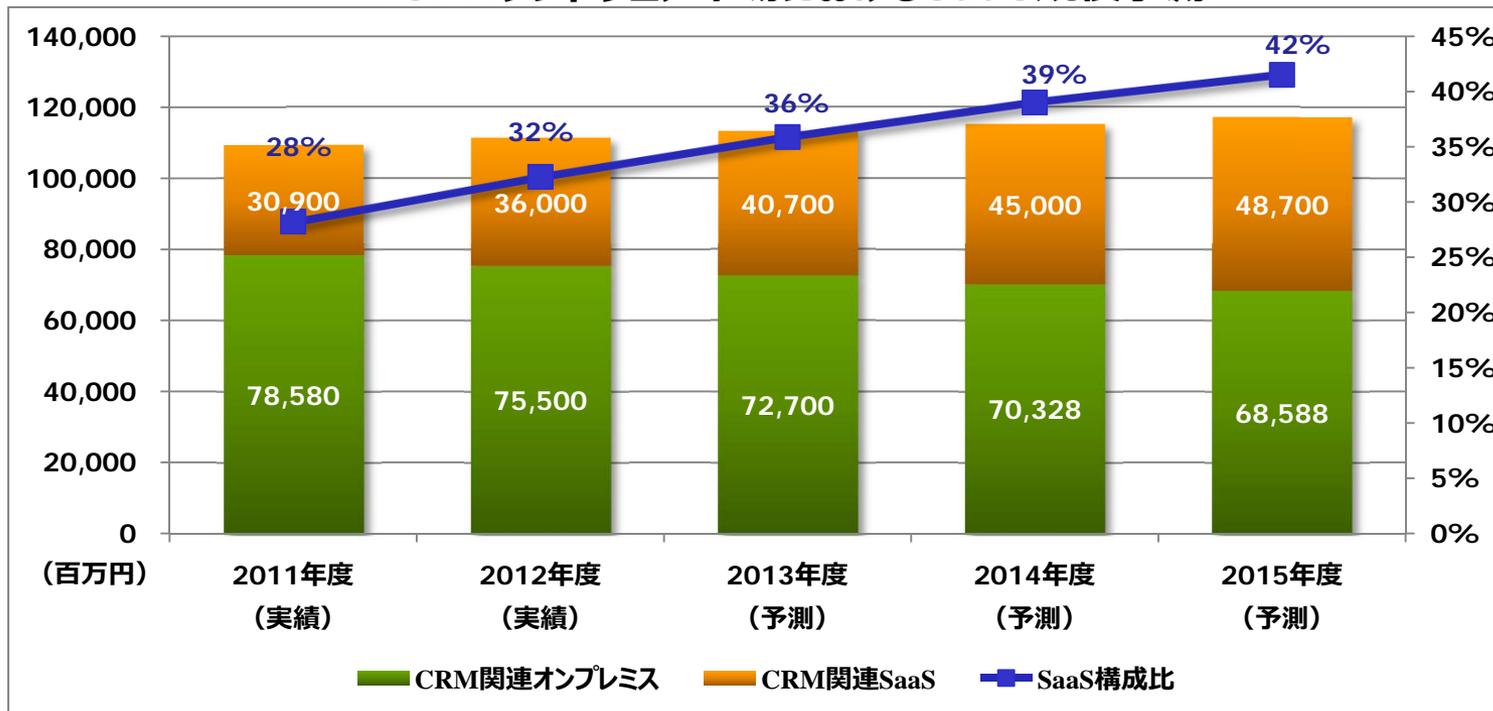
- ◆国内のネットワークセキュリティ市場は、2012年度の4,289億円から、2017年度は6,011億円に拡大の予測。
- ◆平均成長率は7%の高い成長率を予測。

\* 富士キメラ総研「2013ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」より作成。

# 3. 市場状況 (ご参考)

## CRM市場(クラウド)

### <CRMソフトウェア市場におけるSaaS規模予測>

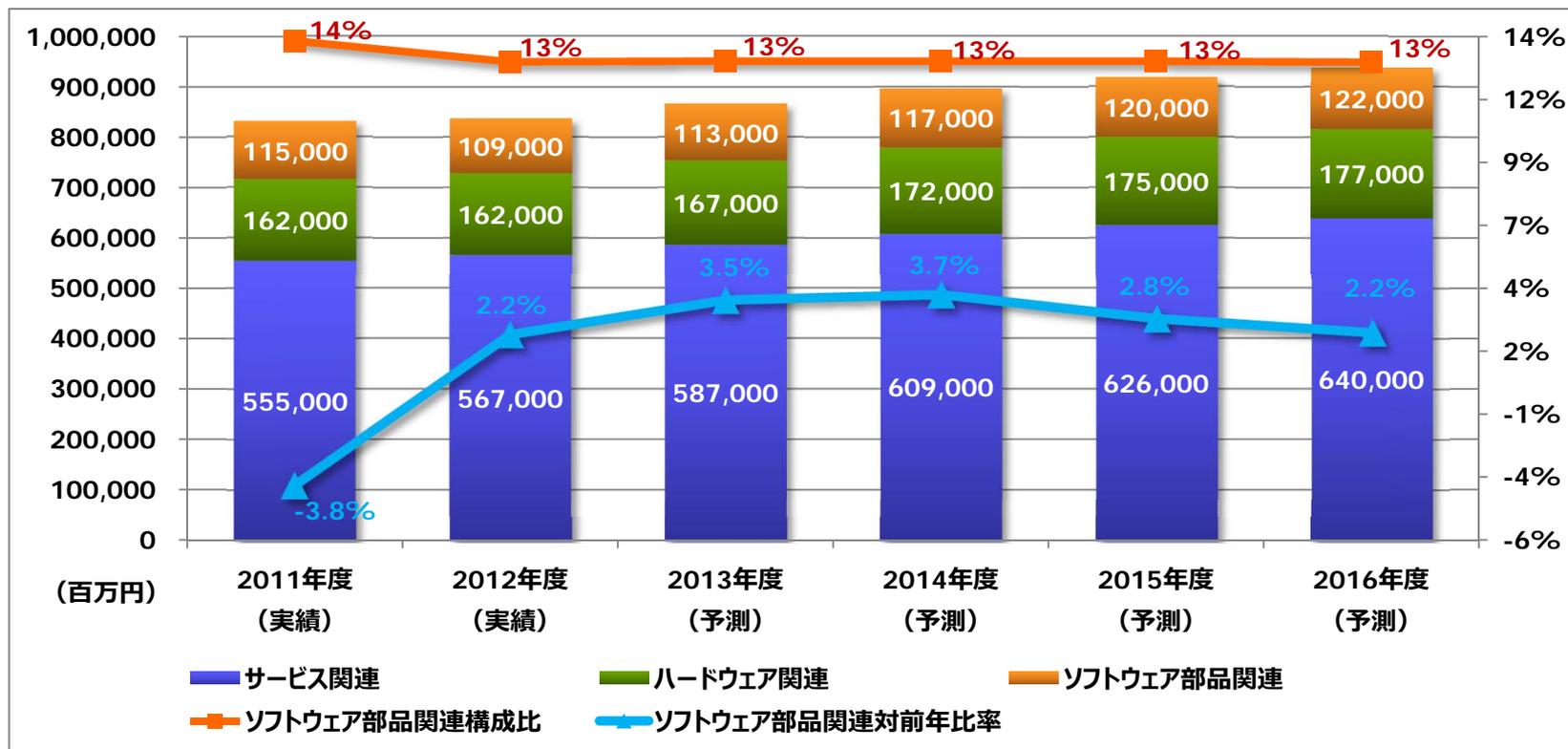


- ◆CRM市場規模全体では2012年度で6,534億円、2015年度には6,862億円と、年率1.6%の成長率。
- ◆CRM全体規模に対して、ソフトウェア関連は、2012年度で1,115億円。2012年度（1.8%増）、2013年度（1.7%増）と全体伸び率と同様の成長率。2015年度のソフトウェア関連は、1,172億円の予測。
- ◆SaaSのみでは、2012年度360億円が2015年度には487億円となり、年率10.6%の成長率と全体の成長を牽引。
- ◆ソフトウェア市場に対するSaaS構成比も2012年度の32%から2015年度の42%まで成長する予測。

\* ミック経済研究所「CRMにおけるIT関連市場についての動向調査結果」（2013年5月27日）より作成。  
\* 2014年度、2015年度のオンプレミス規模は対前年比率から当社が算定。

# 3. 市場状況 (ご参考)

## 組込みシステム市場



- ◆エンベデッドシステム・ソリューション市場全体は2014年度以降、年率2%強の緩やかな伸びが続く見通し。
- ◆2013年度は、前年度比3.5%増の8,670億円となり、リーマンショック後の不況とスマートフォンへの急速なシフトで低迷していたエンベデッドシステム市場が、ようやく堅調なプラス成長になると予測。

\*ミック経済研究所「エンベデッドシステム・ソリューション市場の現状と展望 2013年度版」(2013年5月16日)より作成。

**本日はご清聴頂きまして  
誠にありがとうございました。**

**<お問合せ先>**

**テックマトリックス株式会社企画経理部 経営企画チーム  
TEL:03-5792-8601 ir@techmatrix.co.jp**

**<本資料の取り扱いについて>**

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。  
従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや確実性がありますことを、予めご了承ください。